

2023年3月22日

## 「最近『宗教』に対して不信感が高まった」と10~40代女性の 5割が回答。実際のお寺との接点はますます 希薄化していることが浮き彫りに！

～築地本願寺が「宗教や仏教に関する意識調査」を実施～

築地本願寺（宗務長 中尾史峰、東京都中央区築地3-15-1）では「宗教や仏教に関する意識調査」を全国の男女18-70代、計1600名に行いました（2023年2月実施）。

「宗教・仏教」に対してのイメージや意識、その必要性についてもたずねた結果、「宗教」に対してネガティブなイメージを持つ人が多いことがわかりました。「仏教」への否定的意見は少ないものの、日頃のお寺との関係性や必要性をたずねると、**接点の減少や、仏教・お寺の必要性を感じない人が多く、仏教寺院にとっては厳しい結果となりました。**

ただ、「次世代（子ども）のためには伝統文化や歴史的価値からお寺や仏教を残すべき」という結果も出ています。私たちは、伝統仏教教団として、どのような活動を通して仏教やお寺を未来へつないでいくかが問われています。

### 調査結果のポイント

#### 1、ここ最近で『宗教』への不信感が高まった人は全体の約4割。特に10~40代女性の5割が「宗教への不信感が高まった」と回答

- 【最近あなたの宗教観に変化はあったか】という設問に全体の39.7%が「不信感が高まった」と回答。10~40代女性が特にその傾向が高い。
- 【『宗教』からイメージすること】という設問では、「心の拠り所/信仰」関連が最も多いが、次いで「マインドコントロール」「胡散臭い」「怖い」「お金」など様々なネガティブな切り口での要素が挙げられている。

#### 2、宗教と仏教との印象を比べると、仏教への「抵抗感」のほうが低い。しかし、「魅力」を感じている人も少ない。

- 【宗教／仏教についてのそれぞれの印象】を聞いたところ、宗教よりも仏教のほうが「身近」には感じている。
- しかし、仏教については、全体の半数近くが「あてはまるものはない」と回答。ネガティブでもポジティブでもなく、仏教と関りが浅く、印象が薄いことが伺われる。

#### 3、お寺は「行く目的がない」「何をするところかわからない」と答える人が多い。特に10~30代男女ではその傾向が高い。

- 【お寺に関する意識】を聞くと、50代以下の男女の過半数が「目的がない」と回答。10~20代女性では73%に及ぶ。

#### 4、次世代を担う子供にとって、仏教／お寺は「歴史・伝統を感じる・学ぶ」「先祖を大切にする」「日本文化を感じる・学ぶ」という面で良い影響があると考える人が多い。

- 【仏教・お寺があることで、どのような良い影響があると思うか】を「自分／次世代（子ども）／社会」に分けて聞いたところ、「次世代」のためには、仏教やお寺の歴史的・文化的価値を伝えるべきと思っている。

#### 5、価値観、悩み意識を聞くと、男性30~50代は幸福実感が低い傾向があり、「心の拠り所がない」と答える。

- 日常の悩みや孤独感についての意識を聞いたところ、働き盛りの30-50代男性の「孤独」が浮き彫りに。築地本願寺や仏教が積極的に手を差し伸べるべき人たちの存在が調査からも透けて見えてきている。

##### ●取材や質問に関する問い合わせ

浄土真宗本願寺派 築地本願寺 広報担当：三谷・岡本

お問い合わせフォーム <https://tsukijihongwanji.jp/press/>

電話：0120-792-048(築地本願寺コンタクトセンター：全日9時-17時)

FAX：03-3541-7071

## 調査結果詳細

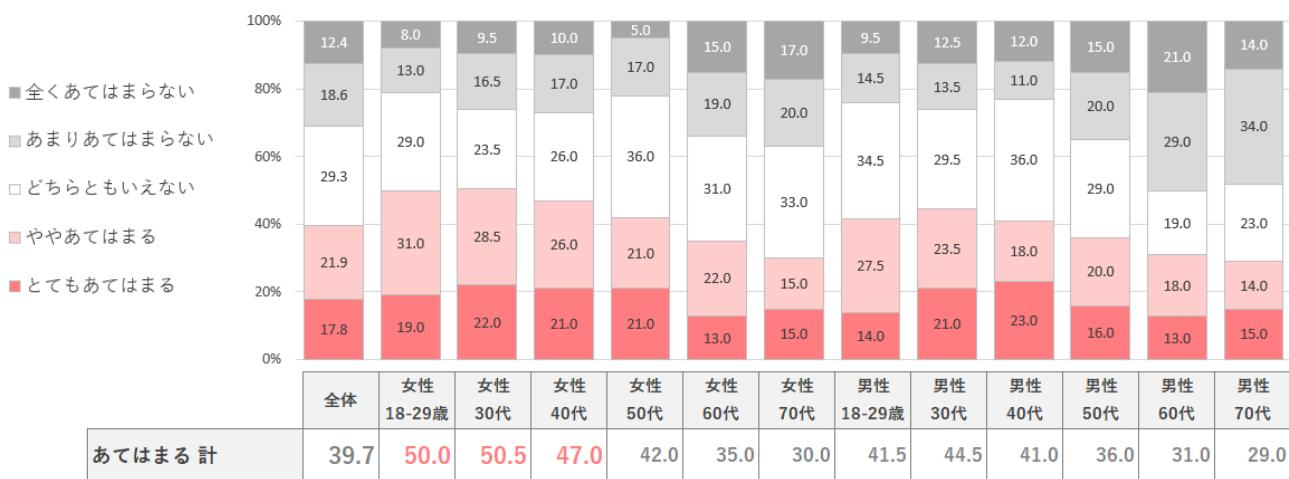
## 1、ここ最近で『宗教』への不信感は高まった人は全体の約4割。特に10~40代女性の5割が「宗教への不信感が高まった」と回答

- 【最近あなたの宗教観に変化はあったか】という設問に全体の39.7%が「不信感が高まった」と回答。10~40代女性が特にその傾向が高い。（表1）
- 【『宗教』からイメージすること】という設問では、「心の拠り所/信仰」関連が最も多いが、次いで「マインドコントロール」「胡散臭い」「怖い」「お金」など様々なネガティブな切り口での要素が挙げられている。（表2）

## (表1)

Qここ最近であなたの宗教観に変化はありましたか。以下の項目について、それぞれお選びください。  
※ここ1~2年くらいを思い返してお答えください

(宗教への) 不信感が高まった



(サンプル数：男女18-29歳/30代 各200、男女40-70代 各100、「全般」は人口構成比に合わせてウェイトバック)

- ・宗教への不信感が高まった人は、全体で「39.7%」。
- ・特に10~40代女性で「50%前後」と高くなっている。

## (表2)

Qあなたは宗教と聞いてどのような言葉やイメージを連想しますか。それについて、お答えください。

## 宗教の連想内容

回答内容	回答率
心の拠り所／精神的な支え	10.4
信仰／信仰心／信者	6.8
マインドコントロール／洗脳	4.0
怪しい／胡散臭い	3.8
怖い／恐ろしい	3.7
お金／お金がかかる／お布施	3.5
キリスト／キリスト教	3.4
個人の自由／人それぞれ	3.3
勧誘／勧誘がしつこい	3.3
お金儲け／詐欺／悪徳商法	3.1
宗教・宗派の種類が多い／多種多様／世界中にある	2.5
戦争・争いの原因	2.5
イメージが良くない／気持ち悪い	2.0
無宗教／無関係／必要ない	1.8
仏教	1.3
その他	-

## 仏教の連想内容

回答内容	回答率
日本古来のもの／日本の伝統	7.5
仏様／お釈迦様／仏陀(ブッダ)	7.1
お葬式／法事	3.7
先祖／先祖を敬う・大切にする／代々引き継ぐこと	3.6
日本／日本人／日本らしい	3.4
身近／馴染みがある	2.5
お寺	2.1
大仏／仏像	2.1
精神・心の支えになる／精神が安定する／拠り所になる	2.1
落ち着く／精神・心を落ち着かせることができる	2.1
日本で普及している／信仰してる人が多い	1.9
インド	1.7
お坊さん／僧侶	1.6
仏様の教え	1.5
信仰／信仰心／信じること	1.5
その他	-

(サンプル数：1,600、自由回答の結果を同じ内容ごとに分類。回答割合が多かった順に上から表示、人口構成比に合わせてウェイトバック)

- ・宗教の連想内容では、「マインドコントロール」「怪しい」「怖い」などネガティブな回答が多く出現。
- ・仏教の連想内容では、「日本古来のもの／日本の伝統」が最も多い。

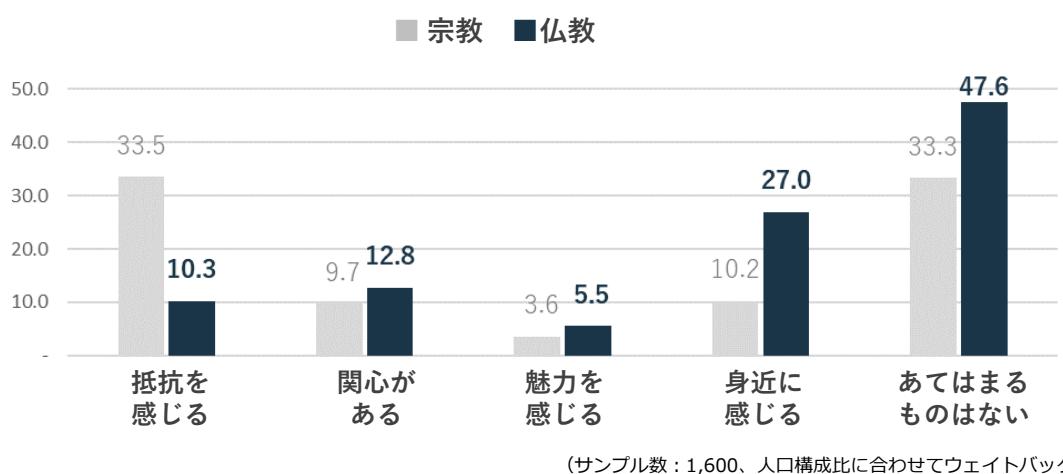
## 調査結果詳細

**2、宗教と仏教との印象を比べると、仏教への「抵抗感」のほうが低い。しかし、「魅力」を感じている人も少ない。**

- 【宗教／仏教についてのそれぞれの印象】を聞いたところ、宗教よりも仏教のほうが「身近」には感じている。
- しかし、仏教については、全体の半数近くが「あてはまるものはない」と回答。ネガティブでもポジティブでもなく、仏教と関りが浅く、印象が薄いことが伺われる。

(表3)

Qあなたは宗教、仏教について、どのように感じていますか。あてはまるものをそれぞれお選びください。



- ・宗教と比べて、仏教への抵抗感は「10.3%」と低い。
- ・仏教についてポジティブ/ネガティブどちらの印象もない人が「47.6%」も存在。

**3、お寺は「行く目的がない」「何をするところかわからない」と答える人が多い。特に10~30代男女ではその傾向が高い。**

- 【お寺に関する意識】を聞くと、50代以下の男女の過半数が「目的がない」と回答。10~20代女性では73%に及ぶ。

(表4)

Qお寺に関する意識について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。

(お寺に) 行く目的がない						(お寺が) 何をするところかわからない						
		とても	やや	どちらとも	あまり	全く	とても	やや	どちらとも	あまり	全く	あてはまる計(%)
		あてはまる	あてはまる	いえない	あてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまる	いえない	あてはまらない	あてはまらない	(%)
全体		26.5	26.7	19.5	16.8	10.5	8.0	17.2	27.0	28.8	19.0	53.2
女性18-29歳		32.5	40.5	15.0	9.5	-	11.0	35.0	30.5	17.0	6.5	73.0
女性30代		26.0	30.5	23.5	12.5	7.5	9.5	30.0	32.0	19.0	9.5	56.5
女性40代		22.0	34.0	27.0	11.0	6.0	7.0	26.0	33.0	20.0	14.0	56.0
女性50代		25.0	27.0	21.0	21.0	6.0	8.0	13.0	33.0	34.0	12.0	52.0
女性60代		22.0	25.0	17.0	21.0	15.0	6.0	26.0	33.0	29.0	-	47.0
女性70代		16.0	23.0	18.0	20.0	23.0	3.70	17.0	46.0	27.0	-	39.0
男性18-29歳		27.0	30.5	23.5	12.5	6.5	14.0	30.0	26.5	18.5	11.0	57.5
男性30代		35.5	23.5	19.0	14.0	8.0	15.5	22.0	27.5	20.5	14.5	59.0
男性40代		36.0	24.0	14.0	14.0	12.0	8.0	14.0	34.0	24.0	20.0	60.0
男性50代		30.0	25.0	23.0	16.0	6.0	7.0	13.0	24.0	32.0	24.0	55.0
男性60代		28.0	17.0	16.0	24.0	15.0	8.0	6.0	24.0	32.0	30.0	45.0
男性70代		19.0	21.0	17.0	26.0	17.0	8.0	16.0	47.0	28.0	-	40.0

(サンプル数：男女18-29歳/30代 各200、男女40-70代 各100、「全体」は人口構成比に合わせてウェイトバック)

- ・お寺に行く目的がないと回答した人は、10-40代で非常に多い。
- ・お寺が何をするところがわからないと回答した人は、10-30代で非常に多い。

## 調査結果詳細

## 4、次世代を担う子どもにとって、仏教／お寺は「歴史・伝統を感じる・学ぶ」「先祖を大切にする」「日本文化を感じる・学ぶ」という面で良い影響があると考える人が多い。

【仏教・お寺があることで、どのような良い影響があると思うか】を「自分／次世代（子ども）／社会」に分けて聞いたところ、「次世代」のためには、仏教やお寺の歴史的・文化的価値を伝えるべきと思っている。

(表5)

Qあなたは仏教・お寺があることで、「次世代を担う子どもにとって」どのような良い影響があると思います。

### 次世代を担う子供にとっての仏教のいい影響

回答内容	回答率
歴史を知る・感じる・学ぶことができる／伝統を感じることができる	10.5
先祖の供養ができる／先祖を大切にできる／墓参りができる	4.3
日本文化を感じることができる・学ぶことができる	3.4
精神・心の支えになる／精神が安定する／拠り所になる	2.6
落ち着く／精神・心を落ち着かせることができる／リラックスできる	1.8
道徳心が芽生える／倫理観が身に付く	1.4
教えを知ることができる／良い話を聞くことができる	1.1
学びの場になる	1.0
日本を感じることができます／日本らしさを感じることができます	0.7
葬儀・法事などの仏事に必要／供養ができる	0.7
成長できる	0.7
安心できる	0.6
墓がある／墓を管理してくれている	0.5
お参りができる	0.5
祈願できる／お願いができる	0.5
平和になる／秩序を保つことができる	0.5

(サンプル数：1,600、自由回答の結果を同じ内容ごとに分類。回答割合が多かった順に上から表示、人口構成比に合わせてウェイトバック)

- ・歴史的・文化的価値の価値を評価する人が多い。（青色部分）
- ・精神の安定やリラックスする場としての影響を評価する人も。（緑色部分）

## 5、価値観、悩み意識を聞くと、男性30～50代は幸福実感が低い傾向があり、「心の拠り所がない」と答える。

【日常の悩みや孤独感についての意識を聞いたところ、働き盛りの30-50代男性の「孤独」が浮き彫りに。築地本願寺や仏教が積極的に手を差し伸べるべき人たちの存在が調査からも透けて見えてきている。】

(表6)

Q以下の内容ごとに、ご自身にどの程度あてはまるかお知らせください。

### 自分はいま幸せだと思う

### 不安やストレスを感じたとき、心の拠り所となる存在がある

		自分はいま幸せだと思う					不安やストレスを感じたとき、心の拠り所となる存在がある				
		とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	あてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全体		11.1	40.2	27.5	12.2	8.9	51.3	10.3	37.0	29.4	14.9
女性18-29歳		16.0	36.2	26.2	13.6	8.0	52.2	14.0	37.6	27.3	13.6
女性30代		15.4	39.4	25.6	13.1	6.5	54.8	15.1	37.0	26.1	14.3
女性40代		10.9	41.9	28.1	10.9	8.3	52.8	11.9	38.0	26.4	13.5
女性50代		9.1	39.5	31.8	12.8	6.8	48.6	10.8	38.2	28.0	16.9
女性60代		14.2	43.7	23.2	13.2	5.6	57.9	14.2	44.0	27.8	10.6
女性70代		12.6	59.8	18.6	6.0	0.0	72.4	10.3	51.5	26.2	10.3
男性18-29歳		13.7	34.1	33.5	10.5	8.3	47.8	12.5	33.7	32.9	12.1
男性30代		10.9	31.4	32.4	14.5	10.9	42.3	9.7	36.7	29.6	12.4
男性40代		7.3	30.6	28.6	17.6	15.9	37.9	8.0	30.9	28.2	19.3
男性50代		7.0	29.5	29.5	15.8	18.1	36.5	7.0	23.2	37.6	17.4
男性60代		5.9	43.9	26.7	11.9	11.6	49.8	4.1	32.3	33.0	20.5
男性70代		12.3	51.7	26.5	6.6	0.0	64.0	6.6	40.7	30.5	17.2

(サンプル数：男女18-29歳/30代 各200、男女40-70代 各100、「全体」は人口構成比に合わせてウェイトバック)

- ・30-50代男性は、幸福感を感じる人が少ない。
- ・30-50代男性は、心の拠り所を持っている人が少ない。

## 調査結果を受けて



現在、一部新興宗教の問題が社会で顕在化し話題になる中、私たちは仏教に携わる立場として「いま、社会の中で仏教やお寺はどう捉えられているのか」を確認する調査を行いました。

その結果、「宗教」という言葉やイメージに対して不信感が高まった方が増えていましたが、仏教やお寺にそれは見られませんでした。しかし、だからといって安心できるわけではなく、そもそも仏教やお寺に対して「何の印象も持たない人が多い」ことが明確になりました。

さらに、お寺への訪問は半年から1年に1回以下の人人が約8割もいて、「お寺が何をする所かわからない人」が10-30代では約4割にのぼるという残念な結果もでています。若い世代のお寺離れは、私たちの努力不足でしかありません。言葉では「ご縁のない方へのアプローチをしよう」と言っていますが、まだまだ具体策が足りていないと反省しています。

また、中年世代を中心とした男性の孤独感についても、現代社会での問題が浮き彫りになっていると思います。

新型コロナ感染症が少しずつ収束し、リアルでの触れ合いが再開し始めています。今こそ私たち僧侶は、お寺にお越しになった皆様を「ようこそ！」と和やかな笑顔でお迎えし、直接お話をさせていただく中でお互いの温かさを感じる時期がきたのではないかでしょうか

筑地本願寺でも「人と人がふれあう場」というお寺本来の機能をもう一度見直し、一人でも多くの方々にご縁を結んでもらいたいと考えております。皆さまのご来院を心よりお待ちしております。

**筑地本願寺 宗務長（しゅうむちょう） 中尾 史峰（なかお しほう）**

筑地本願寺の活動紹介 ~公式HPやSNSで情報をご確認ください

**①お寺を身近に感じてもらえる企画があります**

・テンプルモーニング（毎月第1月曜日 7時40分頃～※変更あり）

少し憂鬱な月曜日の朝にお寺のお掃除をする企画。お掃除後には僧侶からちょっと元気になれる「活力ワード」をお話します。

・パイプオルガンコンサート（毎月最終金曜日 正午頃）

普段はなかなか聞けない筑地本願寺のパイプオルガンをプロの演奏で聞くことが出来ます。莊厳な本堂で心穏やかになれる音色を是非お聞きください。

**②お寺で悩みを相談して頂けます**

・アプリでのお悩み相談

筑地本願寺公式アプリでは仏事の相談から日常の何気ない不安まで、どんなことでも相談出来る機能があります。顔出し不要で匿名制なので、気軽にお悩みを投げかけて頂けます。すでに100件以上のお悩みが投稿されています

・その他、様々な相談窓口を設けて皆さまをお待ちしています。

本堂には予約不要でいつでも利用できる「僧侶僧談」、終活関連の専門窓口「終活相談」、事前予約制で個室で僧侶と一対一で相談できる「よろず僧談」など様々な形の相談窓口をご用意しています

**③あなたの人生の節目にはお寺へ**

お寺は葬儀や法事で行く場所だと思われがちですが、初参式やめぐみの参拝式（七五三）・結婚式など人生の節目の行事も行うことが出来ます。さらに筑地本願寺では婚活相談なども行っており、様々な形でお一人お一人とのご縁を大切にしています。いつでもどこでもあなた的人生のそばに筑地本願寺は寄り添います。

## 調査概要

調査手法：インターネット調査（MApps社）

調査サンプル数：1,600ss

調査対象：全国 男女18-70代（男女18-20代、30代は200ss、他は全て100ss）

調査期間：2023年2月11日(土)～13日(月)

---

—— 浄土真宗本願寺派 築地本願寺について ——



築地本願寺は、京都の本願寺(西本願寺)を本山とする浄土真宗本願寺派の寺院です。古代仏教建築様式などを模した現在の本堂は1934年に落成。内観は浄土真宗寺院の伝統的な造りと、パイプオルガンやシャンデリア、正面扉上部にあるステンドグラス等の西洋文化も調和し、礼拝施設として心安らぐ空間となっています。2014年には、本堂や正門などが国の重要文化財に指定されています。

2017年、“開かれたお寺”をスローガンに、誰でも入りやすく、親しめるお寺を目指し、カフェ・ショップ・書店が入ったインフォメーションセンターを境内に新設しました。はなまつりや盆踊り、除夜の鐘など四季折々の行事を開催し、年間約300万人が集うお寺となっています。